

診断書・意見書（発達・精神障害用）

江戸川大学

フリガナ		生年月日	年	月	日生 (歳)
氏名					

①診断名 主診断名及び 合併診断名等	※医学的診断基準（ICD-11あるいはDSM-5）に基づいた診断名もしくは状態像を記入してください ※検査結果があれば添付してください
	初診日 年 月 日

※以下、可能な範囲でご記入ください

②発症から初診日までの経過と初診時の症状

③治療開始後の経過

④現在の治療・支援・処方等

⑤下記について「はい」「いいえ」のいずれかに☑を付けてください
また「いいえ」の場合は治療での概ね半年後の改善見込についても記入してください

	はい	いいえ	治療での改善見込	
			可能	困難
就寝・起床のリズムを概ね規則的に維持できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
数時間～数週間での症状や体力、気分の大きな変動はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
症状や気分の調子は場面の変化（例：講義・アルバイト・友人と遊ぶ）があっても安定して維持できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ストレス負荷（例：課題、締切、人間関係の問題）を受けても心身の状態を一定に維持できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
不満感、怒り、興奮などを昂らせずに物事に対応できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
継続して通学し、授業に出席することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学業を継続・維持するだけの体力と集中力を保っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
治療・改善に向けて必要なことを理解して積極的に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

治療での改善が困難な項目について、その理由を記入してください

⑥今後の治療方針や改善の見通し

⑦修学上で配慮すべき特性があれば☑を付けてください

対人場面での強い不安や緊張	<input type="checkbox"/>	吃音・場面緘黙がある	<input type="checkbox"/>
対人コミュニケーションが困難	<input type="checkbox"/>	想像力が乏しく、段取りが困難	<input type="checkbox"/>
タイムスケジュール管理が困難	<input type="checkbox"/>	抽象的な指示・内容の理解が困難	<input type="checkbox"/>
注意・集中することが困難	<input type="checkbox"/>	書字もしくは読字が困難	<input type="checkbox"/>
感覚過敏がある	<input type="checkbox"/>	どれにも該当しない	<input type="checkbox"/>

⑧現時点で有している症状や特性のために、修学上必要と思われる配慮の内容について、具体的に想定できるものがあれば記入してください

⑨上記について、医学的あるいは療養上必要あるいは有効と思われる理由を記入してください

上記のとおり診断する

年 月 日

医療機関名

主治医氏名

(診療科

)

印

連絡先（電話番号・E-mail等）※記載内容等につき障害学生支援室よりお問合せする場合がございます

診断書・意見書作成について（依頼）

江戸川大学では、本学の障害学生支援に関わる基本方針に基づき、障害のある学生が他の学生と平等に教育を受けられるよう、修学上の合理的配慮の提供を行っています。合理的配慮とは教育の本質は変えずその実施に伴う負担が過重でない範囲で、個々の学生の障害の状態・特性に応じた配慮を行うものです。

学生の障害の状態・特性により修学上の困難さが生じる点について、医学的観点から情報提供いただきその情報をもとに本学における配慮内容を検討いたします。いただいた情報は合理的配慮の検討と実施についてのみ使用され、障害学生支援室が厳重に管理いたします。

<修学上の合理的配慮の例>

◎教室での着席位置の配慮

◎拡大鏡・ガイドルーラー等の補助器具の利用許可

◎授業中の一時退出許可

◎板書の撮影、授業の録音許可

◎感覚過敏緩和のための補助器具着用許可

◎スケジュールの事前伝達

（イヤーマフ、カラーレンズ等）

◎具体的でわかりやすい言葉での指示

◎定期試験における別室受験・試験時間延長

◎重要事項の視覚情報（文書・メール等）での伝達

本件お問合せ先： 江戸川大学障害学生支援室

TEL : 04-7152-9945 (学生課)

Mail : s-shien@edogawa-u.ac.jp

詳細は江戸川大学障害学生支援室ホームページでご確認ください

(直接入力可能な診断書・意見書様式をダウンロードできます)

